



沖縄県立那覇みらい支援学校
開校準備室だより

〒900-0024
那覇市古波蔵4丁目10番17号
電話 (098)855-7831
FAX (098)855-7832
校長 新垣 ゆかり



いよいよです！

第15号となりました。いよいよ、4月です。

お陰様で、備品、委託の入札を完了し、3月の最後の週は備品の納入も行われました。また、3月29日には高等部35名の合格者保護者向けオリエンテーションがありました。

また、3月25日の主任の先生方の準備会も終え、30日、31日には、本校に赴任する職員の多数が本校を訪れていました。学校らしくなってきました。

いよいよ、学校として始動します。

職員も150名近くが、赴任し、239人の児童生徒を迎える準備を行います。



寄贈がありました。：那覇みらい支援協議会より

那覇みらい支援協議会とは、平成27年に本校の開校につながる、「那覇市に特別支援学校を設置要望」の署名活動等を行った、特別支援学校卒業生保護者の方々に立ち上げた協議会です。本校のために、寄付を募り、体育館の校歌板、舞台の表示用バトン、テント等を寄贈していただきました。(目録贈呈)協議会を代表して、具志川光彦さん(美咲特支卒業生保護者)、照屋尚子さん(西崎特支卒業生保護者・前沖縄県教育委員)、譜久島一成さん、佳世さんが、3月29日に本校においてになり、目録贈呈をしていただきました。



それぞれが本校開校へのおもいを語っていただき、具志川さんは、那覇みらいの開校についてとてもうれしいと話され、美咲特別支援学校も過密化しているのが、できるまで時間はかかると思うが、早く取り組んでももらいたいと話されました。譜久島さん御夫妻からは、署名活動を行ったときに、センター的機能を発揮し、地域の子供、小中学校の先生方の支援をぜひ行ってほしいとの話が

ありました。照屋さんからは、沖知P連でアンケートを過去にとったときのことを話され、那覇市に特別支援学校ができることで通学時間の短縮につながると話されていきました。校舎を御案内した際にもとても喜んでいただきました。いただいた備品が設置されてあとに再度学校だより等で御紹介します。

寄贈がありました。：AM科学様より

3月31日、本校の備品等の対応をしていただいたAM科学様より、携帯型アルコール700本の寄贈をいただきました。多良間代表取締役社長からは、「今回学校が開校するにあたり、児童生徒、先生方、保護者の皆さんに御活用いた



だきたい」とのことでした。いただいたアルコールは、シュッと吹き付けられるようになっており、補充もでき、繰り返し使えるようになっています。全児童生徒がそろいましたら配布を予定しています。



前号 4月の給食について 補足とお詫び

開校準備室だよりや現在の在籍校から本校の給食対応について文書を発送したところでしたが、説明が不足していて誤解を招く部分があったこと、具体的にはアレルギーの中でも卵アレルギーについては対応できないことをお伝えしていませんでした。保護者の皆様にはお詫び申し上げます。補足説明につきましては、下記のとおりです。アレルギーのあるお子さんにつきましては、文科省のアレルギー対応指針、沖縄県教育委員会のアレルギー対応の手引きをもとに、安全性を優先することと示されています。本校では、開校時点での対応を以下の通りとします。

- 1 4月（開校）段階でアレルギー食、形態食の対応を行う対象児童生徒（大平・島尻・西崎・鏡が丘・那覇からの転学児童生徒）：卵アレルギーについては対応が難しい状況にあります。普通食の沖食スイハンのお弁当の栄養成分表を保護者に確認していただき、利用できる場合もあります。
 - (1) アレルギー等に関する医師から診断書のある場合
 - (2) 現在在籍している学校で令和3年度中に開催された食物アレルギー対応委員会でアレルギー食の対応が必要と判断された児童生徒
- 2 特別食についても現在在籍している学校からの情報を基に対応します。
- 3 小学部1年生、小中学校から入学・転学する児童生徒について
 - 1 (1)、(2)の対応が必要なため、新入学児童生徒の特別食等（アレルギー・形態食：ミキサー・刻み等）の対応はできません。御了承ください。

準備室だより最終号となります。

令和3年4月から準備室だよりを発行してきました。おかげさまで令和4年度のスタートを何とか迎えられそうです。県教育委員会をはじめ関係各位の御支援と御尽力をいただき、準備を進めた7名の職員に感謝をいたします。4月から赴任してくる職員とともに学校づくりを進めてまいります。これからは学校だよりを発信していきます。お読みいただきありがとうございました。